

シルバー 人材センター会報

社団法人
流山市
シルバー人材センター
事務所
流山市東初石3-103-18
電話
0471-55-3669

秋元市長 名誉顧問就任

会員の皆様へ

流山市長 秋元 大吉郎



シルバー人材センターの会員の皆様、日々ご精勤、ご苦勞様でございます。心から敬意を表するとともに、感謝申し上げる次第でございます。

昭和五十五年、流山市高齢者事業団として発足したシルバー人材センターも七年の星霜を重ねられ、今では会員数約二百二十名を数え、活動もすっかり定着してこられました。この間、歴代の会長さんを始め、役員、会員の皆様方にはひとかたならぬご苦勞があったものと拝察しております。

そしてこの度、皆様方の熱意にお応えし、シルバー人材センターの事務所を市のほば中央部にあたる初石の旧保健センターに移すことができました。この新事務所を

活動の拠点として心機一転、皆様のご活躍の様子をお聞きし大変嬉しく存じております。

皆様方は、現役を退かれた後もまだまだ働きたい、ご自分の腕を社会のために役立てたいという意欲を持った方々ばかりでございます。そして何よりも豊富な人生経験をお持ちの方々ばかりでございます。

ご案内のとおり、本市はいま、二十一世紀の新しい都市づくりを目指し、ふるさとの先人達が、ツルハシとスコップで利根運河を開削した時以来の画期的な都市づくりに向け、前進を続けているところでございます。この都市づくりには、市民の皆さんの英知と参加が必要であります。皆さんがいきいきと幸せに暮らせる

のではなく、額に汗し、自ら創り上げるものです。すなわち、全市コミュニティで推進していかねければならないのでございます。皆様

もぜひいまお持ちのそのパワーでまちづくりへの参加を続けていただきたいと存じます。

大きな社会問題となっている自転車問題も皆様の毎日のご努力のお蔭で整然とした状況になっております。こうしたこともコミュニケーションでございます。

どうか皆様方には今後ともご健康のうちに仕事に精を出され、充実した人生を送っていただきたいと存じます。

事務所移転

新事務所は初石駅のそば。前の保健センターです。

広々としており仕事の能率が上がります。交通の便がよくなり、会員や一般の方の来訪がふえました。活気があります。

どうぞ気軽にお立ち寄りください。お待ちしております。



表札の字は秋元市長

事務所移転に当って

会長 清水三朗

昭和六十二年五月八日は、流山市シルバー人材センターにとつて忘れられない記念日です。高齢者事業団として発足以来全会員が希望していた市の中央部への移転が実現した日だからです。

センターの事務所は、これまで北端部にあつたため不便でした。東初石進出によって、会員も来やすくなり外来者も増えて会の運営が円滑に進められています。

これは、市長のご配慮に加えて市の担当職員及び市民の皆様のご援助の賜物であり、深く感謝申し上げる次第です。

そこで、この際賛助会員の制度を確立して会の発展を期したいと存じます。

その方法として、商工会、企業体、老人クラブ連合会、福祉団体その他本会の目的に賛同して下さる個人又は団体に賛助会員になっていただきます。そして、ご意見を伺い、ご指導、ご援助を賜り、会の運営に役立てたいのです。

会員の皆様のご協力、ご支援をお願いします。

仕事を通して一筆

古墳発掘に参加して

西深井山 田 富 雄

私達会員三十二人は、三輪山古墳発掘作業に従事することになり探究心と好奇心から勇躍参加しました。

四十五日間、一輪車による土砂の運搬、櫓の組み立てとその移動という危険な作業に終始しました。平均年齢六十九歳。最後まで残った闘士は六人でした。

作業を通じて、多くの会員と親しくなり考古学の片りんを学ぶことができたのは幸せでした。

反面、勤労意欲の格差や就業率の伸び悩み、配分金に対する不満など数多くの問題があることを知りました。

会員の多くは元サラリーマンで、経験を生かせる分野はほとんどありません。会員との調整がつかず事務局が苦勞している現実をみると、センターは、将来深刻な事態になると憂慮されます。

入会したからには、エリート的な感覚から脱皮して意識を切り替え

ないと、離脱者が増えます。

シルバー人材センターは、我々にとつて希望の源泉であり拠所であります。新しい就業の創造と将来の展望に対処しながら、ほのぼのとした親しみと、活気に満ちた力強いセンターであってほしいものです。(古墳発掘I人材発掘)

私の体験記

若葉台 池 田 良 子

幼稚園のお嬢ちゃんの面倒を見る一初めの仕事に緊張して玄関のベルを押しました。と同時にドアが開き、三人のお子さんが顔を並べて、「こんにちは」と迎えてくれました。

「待っていてくれたのだな」とお子さんたちの心の暖かさが伝わってきました。

居間に入ると、中学生の長男が、修学旅行の思い出を楽しく話してくれました。

幼稚園児のT子ちゃんは、ゆで卵やメロンを食べ始めました。とさ出すやうにうたんに投げるやら大変な騒ぎ。この先どうなることかと、私は心配になりました。けれど、T子ちゃんは素直で

かわいい子です。お行儀よく食事をするので。彼女と私は、気の合った友だちになりました。お母さんは「人見知りする子ですが、おばさんとはよく合うみたい」と喜んでくれました。

初日のことは、今から思えば、彼女にとつては儀式みたいなものだったのです。T子ちゃんに会うのが楽しみです。

高校生の駐輪場利用

平方 狼 正 治

江戸川台駅東口の駅寄りの駐輪場には、夜越しの自転車非常に多いのです。乱雑に置かれており、道路上に放置されているものも多数あります。多くは高校生のものです。原因は、高校生が帰るころ駐輪場が空いていないためと思われま

朝の整理が一通り終る八時前後になると、数百人の生徒が来て整理した駐輪場をめちゃくちゃにしてしまいます。ある婦人は、「すごいですね。これなんとかならないものでしょうか」と言っていました。対策として、一、学校側で指導員(先生と生

(徒)を置いて朝夕指導する。
二、生徒専用の駐輪場を設けること。

自転車整理

十太夫 青木 保

流山駅の自転車整理は六十年三月一日から始まった。当日はあいにくの雨、総員七人であった。今は四人で、二か所、一日交代。勤務時間は年中変わらず朝六時半から二時間である。

私は自転車を通う。三十分かかる。朝六時に家を出てなるべく裏道を通る。坂道もおりずにあがれるようになった。追い越して行く車は私をよけてくれるので助かる。そんな車には、「ありがとう」と言っている。

駐輪場の利用者は協力的である。現在は駅の上と下の二か所である。駅前広場に置くような不心得者は少ない。皆紳士淑女である。上の方は台が一杯になったが、下の方は十分余裕がある。

二年半近くだったので顔なじみもできた。あいさつをすると笑顔で答えてくれる。中には無視する人もいる。やっとないさつを返すようになった人もいる。先方から

先におはようを言う人も出てきた。近所の人や通行人にもあいさつをしている。

冬は寒いのでたき火をする。文句を言う人がいた。その人が、今年の冬たき火用のかんを持ってきてくれた。利用させてもらっている。燃料はなんとか都合している。

駐輪場整理

宮園 津村 智司

私は、今年四月から鱈ヶ崎駅駐輪場の整理をしています。こじんまりとした駐輪場で、入口の左が流山電鉄の線路、右が畑で季節の花が咲きそろう夏野菜の成長が目を楽しませてくれます。

宮園・鱈ヶ崎地区の方は大分新松戸駅周辺の駐輪場を利用しますので、私どものところは、学生が少しと会社などへお出かけの人々です。

ほとんどの利用者は、自転車をていねいに置いて行きます。駅のホームまで近いので、南流山駅前のような混雑もトラブルもなく、至極平穏です。一か月二〜三台、混雑時入口に置いてゆかれる程度です。

自分が元気で社会につながって

いる安心感と少しでも働ける有難さに生き甲斐を感じ、本当に幸せだと思っています。

「お早ようございます」、「行ってらっしゃい」と、できるだけ多くの方に声をかけるようにしています。

勤務時間を大切に使い、自分達ともども駐輪場を利用する方々の一日が、きょうも無事でありますようにと願って終わる二時間です。

駐輪場の有料化

西初石 折笠 竹治

昨年の秋、初石中学の校長が生徒の放置状況を調査に来て、「私も生徒によく話しておきます」と言われました。

現在初石駅周辺には、中学生の放置自転車は一台もありません。又、休み中の駐輪場の使用については、整理員の指示を受けているようです。教育の力でしょうか、頭の下がる思いがします。

さて、私は駐輪場の有料化を考えています。

予想される利点として、
一、市当局への苦情がなくなる。
一、盗難の予防になる。
一、経済的な理由で駐輪場の利

用者が減る。

一、長期放置をチェックできるため物置代わりがなくなる。

一、近距離の利用者が減る。駅周辺の一等地を利用するのだから、代償を支払うのは常識です。とりあえず利用者を減らし、安心して通れる通路にすべきだと思います。

幸い整理員の勤務時間延長により午前中の放置車は一台もなくなつて、特に老婦人から喜ばれています。しかし、午後になると若干乱れているので、利用者の皆様のご協力が望まれます。

老後を想う

加 根本 悠紀子

「人生八十年時代」を迎え、わが夫婦にも迫ってくる老後。どう生きるのが幸せなのだろうか。

現在お世話しているおばあちゃん、一年前とも膜下出血で手術を受け寝たきりの状態で、主にご主人がつきっきりで看病し、食事の世話はお嫁さん、風呂は市から派遣されるホームヘルパーとお嫁さんとで入れ、それでも手が足りず私がお世話に伺う。このケースは非常に恵まれており、普通の

家庭ではとてもできない。

一億総長男長女時代になるだろうと言われている今、若い夫婦は四人の親を抱え面倒を見ることになる。子どもに対して無理な要求をするよりも、親自体の意識を改めた方が生きやすいのではないだろうか。

若い者との同居が幸せであり、別居は淋しいもの、まして老人ホームに入るのはかわいそうというのが今の日本人の標準の考え方が、今こそ、その発想をくつがえし、自分たちの手で老後を生きやすくぬりかえていく時の到来を深く感じるのである。

仕事が生きて甲斐

このす台 小 熊 秀 雄

私は、一年半ほど前シルバースターの会員になりました。六年前までは大工の請負をしていましたが、年を取った時のことなどを考えて、出版会社の守衛になりました。

私は、宿直の翌日が休めるのでその暇を利用して大工の仕事をしています。棚つりや戸の直しなどいろいろな仕事があります。「これからは小熊さんを指名しますか

ら」といわれると、本当に嬉しくなります。また、水道工事店の図面書きをしています。

私は、今年六十歳になります。現在の会社にも定年があります。そしたら、シルバースターの仕事を一杯やります。まだまだ力仕事には自信があります。人に喜んでいただける老後を送れたら最高の幸せです。

頑張ります

このす台 小 熊 富 美 子

私は、主人と一緒に会員になり、草むしりなどいろいろな仕事をしています。

今年三月から四月にかけて、飯場の食事作りをしました。病気で入院した方の後釜です。自信はありませんでしたが引き受けました。買い物から始まり四人分の食事をつくりました。そのほか、掃除・ふとん干し・トイレの掃除・洗濯など、自分で気がついたことは一生懸命しました。そして、仕事を終えて北海道に帰られる時は、引越しの手伝いもしました。やり甲斐のある仕事でした。きれいな道路を見ることが、私にも手伝いができたのだと

ひそかに誇りに思っています。飯場の仕事は忘れられません。

また、九十歳になるお婆ちゃまの手伝いも、ご家族に気を遣っていただき、真心は通じるものだと感謝の日を送っています。

会員になって

松ヶ丘 鶴 丸 貴 美 男

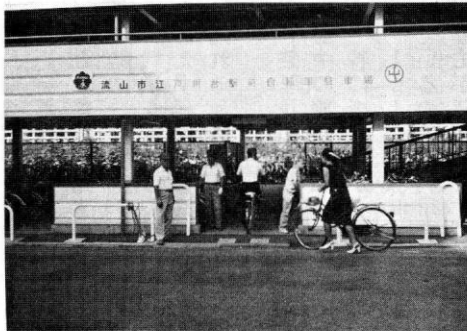
会員になって一年半。その間私の仕事は、名都借福祉会館の管理です。何の技能もない私にはうってつけの仕事です。

性分だと半ばあきらめていることがあります。それは、退館時に決められた点検をするのですが、いざ玄関をしめようとすると、あそこはどうしたかなと不安になりもう一度念を入れることです。

会館勤めは、利用者と会話ができて、家にもって行くより老化防止になります。

会館を利用するのは大半が老人で、会館の決まりをよく守ってくれます。ところが、年に二・三回利用する人たちの中に、終了時刻を無視しようとしたり決まりを破ろうとしたりする人がいるのは困ります。

私は草取りに行ったこともあり



江戸川台新駐輪場管理



三輪山の古墳発掘

ます。頼んだ人は、どんな人が来るのか不安だったのですが、私が、「センターから来ました」というと、ほっとした様子で、「いい人が来てくれました」と喜んで迎えてくれました。作業を終って帰るときには、「またお願いします」といわれ嬉しくなりました。会員になってよかったです。親睦旅行も楽しみです。

センターに入会して

平方 白川源之進

私は、六十六歳まで会社で働きその後すぐに会員になりました。五十八年一月のことです。

仕事は、江戸川台駅の自転車整理です。寒い朝も整理も苦にならず、新しい友ができて会社とは違う職場の雰囲気私を勇気づけてくれました。

何日と何日が出番だと、自分に仕事のあてがある—これが毎日の生活に心の安らぎを与えます。そして、仕事ができるということがいかに貴いかを痛感しました。

わずかな収入でも孫に何かを買ってやれる喜びと心の安定は、何物にも代えられない支えになります。

定年後自分に合った仕事を見つけるのは困難です。しかし、センターで紹介された仕事の中から何かをやる、そのうちには自分に合った仕事が見つかるかもしれせん。とにかくやってみる事です。

最近シルバー人材センターにも多くの仕事が入るようです。会員として喜ばしいことです。私も二冬自転車整理をして現在は会館の管理をしています。あと何年務まるか、時が決めてくれると思います。

事業団を初めとして

平方 小倉 武士

シルバー人材センターと名前も変わりましたが、私は初めから何もわからないままに、自転車整理をしたり西深井福祉会館に勤務したりしました。

会館では、受け付けをしたり草取りをしたり、時には障子の切り張りや何のこともなく勤めさせていただきました。

用事のある時は交代し、わからないことも知恵を出し合って解決し、助け合いながら勤めてきました。

これからがんばろう。

ショッピング

センターの警備員

若葉台 田 邨 留 吉

私は、六月から豊四季ショッピングセンターの警備員として勤務している。担当の業務は、買い物客の自転車整理、車両の誘導、店内の見回り、店内外の巡回と環境の整備などである。

私が一番気をつけているのは、お客様に不快な感じを与えないことだ。お客様が最初に接するのは私であり第一印象になる。そこで私の担当についても、店の信用とイメージを損なわないよう慎重に配慮している。そして、数多くの商品を取り扱う関係上、清潔・整頓・清掃などの細かい点にも気を配り、親しまれ信頼されるセンター作りに協力している。

毎日午後三時ごろから買い物客で混雑し、使った籠を整理する。杖を頼りの人、手押し車を押す老人や身障者もいる。「気をつけて」の気持で見送る。この度は、偶然の巡り合わせで新しい職場につき、消費生活の移り変わりを肌で感じる事ができた。人生のよい社会勉強になった。



植木剪定の実技研修



上耕地運動場の除草

元気なうちは働こう

十太夫 高橋 久市

高齢者は、身軽に動ける体にして、汗をかいて健康を維持する必要がある。体が資本です。

私は、市営庭球場の管理人をしています。はた目には、楽な好きな仕事に思えるようです。しかし、業務内容は相当複雑で容易ならざるものがあります。

例えば、気象条件の変化。コートが使えるか、強風などの時使用できるかの判断、対応策、措置などの問題があります。無断使用者との対応も骨が折れます。

このほか、受付時間外に予約に来たり、予約時刻に遅れて来たり、空きコートの場合無断使用組とのトラブルも頭の痛いことが多いです。そして、時間ごとに使用許可書の回収とチェックをします。

説得や指導にも限度があり困難な問題が数多くあります。一生懸命頑張っています。

私は、指圧と手話の習得に励んでいます。楽隠居せず社会参加の輪を広げましょう。業種の拡大と年齢制限をしないよう希望します。

野球場の管理

流山 米山 俊平

私は、河川敷野球場の管理をしています。流山橋の下流千五百メートルの間に九面のグラウンドがあり、週に三、四日使います。時間はまちまちで、一時間という時もあります。日曜は朝六時から夕方六時まで九面全部使います。

無断使用者やグラウンドの面の間違いなどをチェックして、トラブルのないようにするのが私の仕事です。

土曜と日曜の天気が一番心配です。雨でも休めないのです。雨の日でも半分ぐらい使います。泥んこになって野球をしています。雨が激しくても、使用許可書を出しているのだから行きます。

日曜の朝グラウンドに満ちあふれる若人の熱気は、年のことを忘れさせてくれます。健康にもよく、広々とした草原と空は別世界です。

人とのふれあいを大切にしています。一、二回会わないと、「どうかしらしたか」と聞かれます。こんな時、社会に役立っていることを実感します。これからも仕事を大切にします。

随想

日本人のルーツ

西深井 内山 隆秀

昭和二十年五月か六月、フィリピンのルソン島で米軍に追いつめられた我々は、ジャングルの中で数戸の集落に出会った。

あわ・陸稲・とうきびがほんの少し栽培されていた。無人である。住人は、かねて聞いていた少数民族のイゴロットであると思つた。

イゴロットは、タカログ・イルカノという優勢な族に追われて、北部の高地に細々と生存していると聞いていた。

さて、その家は竹で編んだ高床式のもので、第一の驚きは、屋根に千木(ちぎ)が置かれていたことだ。日本では神社にしかない。

次の驚きは冠木門。家に入って更に驚き。四角に凹めた石の囲炉裏。灰が入れてあり火を使った跡もある。一段高いところに床の間。まさに驚きの連続であった。

大和族は、マレー族が南方から黒潮に乗って渡来したといひ、北方騎馬民族の流れともいふ。

しかし、イゴロット族こそ最も近縁の仲間ではあるまいか。住人には会えなかったが、我々と同じ顔をしているに違いない。

あれから四十有余年、イゴロット族の話題に接したことはない。だが、イゴロット族こそ原日本人という考えは、いまだに変わっていない。

寸笑

江戸川台東 加瀬 豊春

(1) Aさんは高齢になつても元気なことに変わりはない。

ただ少し耳が遠くなった、と話していたら、お孫さんが、「おじいちゃんの耳遠くならないうよ。今までのとおやお顔のよこにちゃんといっているよ」

(2) やはり少し耳の遠くなったAさん。ときどき人の話を聞き違える。

息子さんたちが、Aさんをお光り様と呼んでいるのを聞いて光頭に対する尊称、と喜んでいたら、奥さんが、

「あまり小言が多いからお叱り様と呼んでいるんですよ」

* 昭和62年度事業計画 *

目 的

自らの能力と経験を活かし地域社会に参加貢献することにより生きがいの充実と福祉の増進に資する。

1. 基本方針

- (1) 高齢者に適した就業機会を積極的に開拓し提供する。
- (2) 高齢者の就業及び会員の増員について地域社会の理解と協力を得るため広報活動の推進
- (3) 高齢者の就業に関する知識技術の向上
- (4) 組織及び運営体制の充実

2. 実施計画

(1) 就業の開拓及び提供

官公庁受託事業推進会議の開催

官公庁，シルバー人材センター会員との理解を深め就業の開拓促進に努める。

民間事業所及び各家庭にシルバー人材センターしおりを配布し就業の開拓促進に努める。

(2) 広報活動の推進

会報の発行，市広報の協力を得て広く活動状況をPRし事業推進に資するとともに，各家庭にシルバー人材センターしおりを配布し，会員の増員に努める。

(3) 就業に関する知識，技術の向上

就業機会の拡大と就業意欲の向上を図るため研修会，講習会の開催

(4) 組織及び運営体制の充実

事業の推進と会員及び事務局との意思疎通を図るため各地区において懇談会を開催

事業の効果的な運営及び推進を図るため理事会，専門部会（総務，業務）の充実。

3. 無料職業紹介

臨時的就業かつ短期的な雇用による就業を希望する高齢者のために，無料の職業紹介事業を行う。

地区担当理事

地区	氏名	住所	電話	地区	氏名	住所	電話
1	小倉 武士	平方 44-2	52-7094	6	椎名 清	東初石 3-125-7	52-3803
2	渡辺 政治郎	こうのす台 1072-18	53-0492	7	清水 三朗	流山 1-267	58-1241
3	麻生 修	江戸川台西 2-111	52-0249	8	阿部 政男	野々下 4-821-5	45-5128
4	鈴木 政信	江戸川台東 2-286	52-0553	9	渡辺 四郎	鱈ヶ崎 955-5	58-5036
5	越後屋 喜七	西初石 4-369-14	52-6919	10	金子 佐郷	向小金新田 145	74-3519

地区連絡員名簿

地区	氏名	住所	電話	地区	氏名	住所	電話
1	塩沢 秀明	平方原新田 29-3	54-2810	5	出口 亀藏	若葉台 2-12	54-5867
1	吉田 貞次	西深井 379	54-8632	6	熊谷 千一	東初石 3-98	52-3603
1	斉藤 久五郎	平方 1224-4	52-6011	6	三谷 和夫	東初石 4-141-51	52-8531
2	五十君 利子	東深井 871-124	52-3697	6	井上 啓七	東初石 5-153-1	52-6561
3	宇留野 馨	江戸川台西 2-20	54-7478	6	須賀 良一	美田 69-202	59-5228
3	鈴木 鶴三	江戸川台西 4-8 ピラエド内	54-2690	7	血矢 茂吉	流山 4-381	58-1766
4	茂木 嘉十郎	江戸川台東 4-25	52-3637	7	花岡 実紀	加 790-1	58-2560
4	金井 一治	駒木台 524	54-6446	8	清水 一	市野谷 467-2	58-3887
5	斉藤 喜久	西初石 4-475-2		9	渡辺 四郎	鱈ヶ崎 955-5	58-5036
5	本田 初五郎	西初石 3-98-22	52-1732	10	滝口 滝男	松ヶ丘 2-330-115	45-2384

弔慰見舞金

弔慰見舞金の支給規定ができました。

- 一、死亡香料(二万円)
- 二、傷病見舞金(五千元) …… 週間以上入院したとき
- 三、災害見舞金(一万円) …… 災害により住居または家財に損害を受けたとき

該当する人は、地区担当の理事か連絡員に申し出てください。

事務局だより

○このところ仕事は順調にふえています。しかし、なかなか人が見つからないことがあります。会員の皆さん、センターからの連絡を待ただけでなく、自分の方からセンターと連絡を取るようになってください。

きつとい情報があります。※六十一年度就業しなかった人は四十六人(今年三月末会員二百九人)

○全国シルバー人材センター協会

の定期総会が六月東京で開かれ、清水会長と吉田事務局長が出席しました。

今後取り組むべき大切な事柄として、次の四点が指摘されました。

- 一、就業率の向上
- 二、民間の仕事の割合をふやす
- 三、交通事故を含めた安全就業対策
- 四、事務局の体制整備

○軽トラックを購入し二台になりました。機動力アップです。機材の運搬や植木ごみの処理などに活躍しています。

◆編集後記◆

今回はいろいろな職場の方に原稿をお願いしました。バラエティに富んだ内容になったと思います。ありがとうございます。ご感想・ご意見を事務局までお寄せください。

